

旅行取扱状況の概観（平成17年6月分）

海外旅行の取り扱いでは、団体旅行は一般団体、学生団体が共に取り扱い不振で、前年実績を大きく下回った。一方、主催旅行はホリデイの好調により大きく前年実績を超え、5ヶ月連続での前年実績プラスと好調に推移し、個人旅行も法人・個人の需要を取り込み、堅調な取り扱いで前年並み実績を確保した。このため、海外旅行合計は前年比94.1%と前月に引き続いて前年実績を下回る結果に終わった。

国内旅行の取り扱いでは、団体旅行は一般団体、学生団体が共に好調で、6ヶ月ぶりに前年実績を上回った。主催旅行はメイトの低調により大幅に前年実績を下回ったがこれは、**計上基準の変更による異常値の影響**が大きい。個人旅行は愛知万博入場券の好調持続、および航空券、JR券、宿泊券の取扱増により前年実績を超え、3ヶ月振りの前年比プラスとなった。この結果、国内旅行合計は前年比100.7%と3ヶ月振りに前年実績を上回った。

外人旅行は、大型団体の取り扱いにより前年比142.4%と大幅に前年実績を超え、7ヶ月連続での前年比プラスと好調に推移した。

6月の総取扱額は、国内主催旅行、海外団体旅行の取り扱い不振の影響が大きく、前年比99.4%と前年実績に僅かに届かなかった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体では、イベント・コンベンション関係の取扱いは依然好調に推移したが、その他団体は前年を大きく下回り不振。学生団体も修学旅行の取扱いが大きく減少し、前年実績を大きく下回った。方面別の取り扱いでは、台湾、香港、ミクロネシア、アメリカ本土が好調であった。中国、韓国、および津波の影響の残るタイは大きく前年を割っている。

(2) 主催旅行

ホリデイは今月も取扱いが大きく増加し、5ヶ月連続での2桁増と好調が続いている。**(販売実勢としては前年比117%程度)** 方面別取り扱いでは、台湾、インドネシア、ヨーロッパ、ハワイが好調であった。中国、タイは団体同様に大きく前年を下回り、韓国も前月から前年比で20ポイントマイナスと大きく落ち込んでいる。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体はイベント・コンベンション関係の取り扱い好調によって大きく前年実績を上回り、3ヶ月連続での前年比プラスと好調に推移した。学生団体も修学旅行、校外学習の取扱いが増加し、3ヶ月振りに前年実績を上回った。

(2) 主催旅行

メイトは前年比83.8%と大きく前年実績を下回っているが、これは**計上基準の変更による異常値の影響**であり、**販売の実勢としては101%程度**と前年実績を超えている。
方面別では、沖縄および東京地区が好調であった。

(以上)